

北陸地方整備局
能登港湾空港復興推進室

記者発表資料

発表日時

令和6年5月27日

能登半島地震で被災した七尾港岸壁の応急復旧工事が完了 ～震災前と同様に大型船の利用が可能になります～

能登半島地震により利用に一部制限がかけられていた、七尾港大田3号岸壁の応急復旧工事が完了し、大型船の利用が可能になります。（6月1日に入港予定）

なお、引き続き、早期の本格復旧に向けて取り組んでまいります。

1. 復旧施設の概要

施設名：大田3号岸壁（水深11m）

係船能力：18,000DWT※

取扱貨物：原木、化学肥料 等

※DWT：「dead weight tonnage」の略で、船舶が積載できる貨物の重量を示すトン数

2. 応急復旧工事の概要

工事期間：4月17日（水）～5月23日（木）

工事内容：コンクリート舗装版の撤去及びアスファルト舗装による仮復旧等
（別紙1参照）

3. 復旧工事による整備効果

岸壁背後の一部については、貨物の荷役に利用制限（岸壁法線から約20mの範囲に空洞があるため車両の通行不可）をかけておりましたが、今回の応急復旧工事により制限が解除され、荷下ろし範囲が拡大したことで1度の輸送量が増加します。さらに、複数船舶の同時荷役も可能になりました。（別紙2参照）

同時発表記者クラブ

石川県政記者クラブ
専門紙

（問い合わせ先）

国土交通省
北陸地方整備局
能登港湾空港復興推進室
副室長 西條
前任建設管理官 今井
TEL：0767-53-0900

位置図



被災状況



コンクリート舗装版下部の空洞化

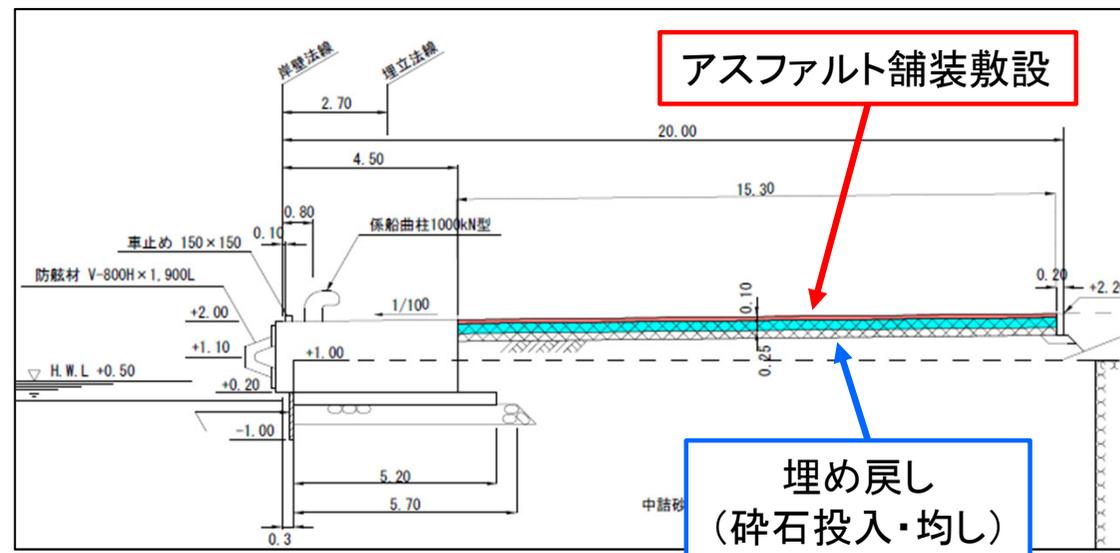


エプロンの沈下

施工箇所



応急復旧断面





作業① コンクリート舗装カッター
切断



作業② コンクリート舗装撤去



作業③ コンクリートがら積込



作業⑥ アスファルト舗装敷設



作業⑤ 路盤材転圧



作業④ 路盤材敷均し

【効果①】 荷下ろし範囲が拡大し、1度の輸送量が増加！

応急復旧により、荷下ろし可能な範囲が広がり、1度の輸送で多くの貨物を扱えるようになります。



【効果②】 複数の船の貨物を同時に扱えます！

応急復旧により、長さ100m程度の船舶が2隻同時に荷役できるようになり、より多くの貨物を扱えるようになります。

